

誰でも利用できる居場所・障害者の社会参加と就労支援

# 特定非営利活動法人 風の家通信



《2021年10月1日 第23号》 <https://kazenoie.sakura.ne.jp/wp/>

余暇活動支援 第2回

## お茶の入れ方教室 8/21

10月16日(土)～11月14日(日)まで、掛川市主催の「かけがわ茶エンナーレ」に風の家も参加します。「お茶」と「ご縁」を大切に、風の家ではその期間内は、お客様に美味しいお茶を提供します。利用者にも入れてもらうので、今回は日本茶の入れ方教室をやりました。まず見本の入れ方を見て、その後ペアになり、相手と自分のお茶を入れて飲んでみました。温度は70度。いったんさましたお湯で入れたお茶は、美味しかった!!



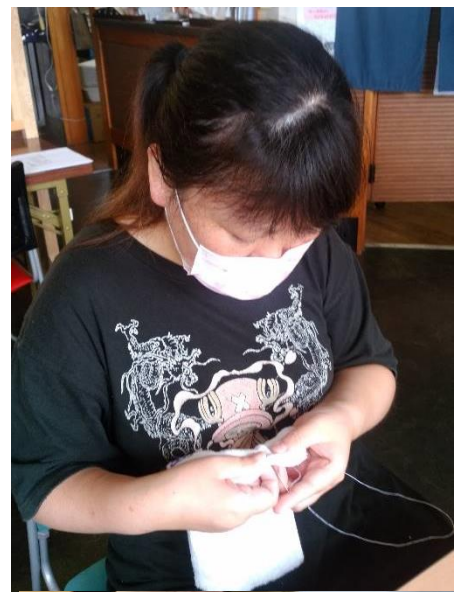
### ①パソコン学習【各自やりたいもの】

前回、パソコン学習をやらなかった人が今回パソコンをやってみました。文章を入れる人や、表を作る人など、ローマ字入力を初めて体験する人もいました。また、機会があればやりましょう。本格的にやりたくなったら、パソコン教室に通う人がでてまたりして…。出てくるといいのになあ～♪♪♪♪♪♪



## ②お裁縫学習【ボタン付け・ぞうきん作り】

お裁縫班は、かなりすごいことになっていました。「ボタン付け」なんて、やったことある人いるかなあ？まずは、針に糸を通して…それから、糸に玉こぶを結んで…。この玉こぶがあんがい難しいのです。自分の好きな色のボタンを選んで、白い布に刺して…抜いて…できたー！！  
次は、ぞうきんを縫います。



ぞうきんまで、できなかった人もいたけど、ボタン付けは、とっても綺麗につけてありました。これなら、次回は「箸入れ」を縫うこともできそうです。余暇活動支援は、あなたの「やりたいこと」を応援する時間です。何か、やりたいことがあったら職員に言って下さいネ。



◆後日、利用者にアンケートをとりました。

一番多かったものは、「手話学習」でした。風の家は、聞こえない利用者が2人います。次回の余暇活動は、「手話学習」をやります。

## 「手話学習」 9 : 30 ~ 10 : 30

前回、「余暇活動のとき何をやりたいですか？」と聞いたところ、「手話を教えて欲しい」という意見が、何人もの人から出ました。風の家では、聞こえない仲間2人一緒に働いています。ですから、みなさんも「聞こえない人とも話がしたい」と思ったのでしょうか。今回は、その聞こえない人2人に講師になってもらい、手話を学びました。挨拶から始まって、自己紹介、そして仕事に関係したことや、朝の会の司会に必要な手話などを教えてもらいました。



手話学習の講師2人と施設長



挨拶や仕事に必要な手話を、丁寧に教えてくれました。

## 「手話かるた」 10 : 30 ~ 11 : 30

小笠地域(掛川・菊川・御前崎)は、「手話かるた」発祥の地です。お正月、聞こえる家族が楽しそうにやっている「かるた」を見て、やりたいのにやれないもどかしさ。なんとか、みんなで楽しめる「かるた」ができないものかと、聞こえる人と聞こえない人が一緒になって考えだした「手話かるた」です。もう40年、もっと前のことです。当初テレビでも紹介され、それが全国に広まり、今日を迎

えました。「かるた」の絵を聞こえない人が見て、絵札をそのまま身体で表し、それを見た人が、「かるた」の絵札を探し出すというものです。手話かるたの説明を聞いたあと、みんなでやってみました。みんな、上手に「かるた」をとっていました。聞こえない人の、表す身振りをジッと見て、かるたの絵と比べながらさがし、たくさんの絵札が取れました。みんなからは、「楽しかった」とか「難しかった」と言う感想がありました。



絵札を身体で表現している



みんなが取るかるたは、普通サイズ



講師が見る絵札は巨大かるた!!



風の家は、聞こえない仲間がお客様としても、たくさん来てくれます。そして、障害をもったお客様も来ます。地域の人や福祉関係の人、高齢者の方々、いろいろな人が利用してくれることで、みんな一緒に生きているんだな、と実感します。

【編集後記】 10月16日～11月14日まで「かけがわ茶エンナーレ 2020+1」が開催されます。風の家も参加し、期間中毎日お茶の接待をし、11月13日は「抹茶・煎茶のいただき方」をやる予定です。みなさん、体調には十分気をつけて、是非遊びに来てください。